



並木中等story

令和2年6月12日号

失敗はした方がいい？！

皆さんの中で失敗したことがないという人はいますか。ほとんどいませんよね。もし、「はい」という人がいたら、私は「残念ですね。」と言うかもしれません。失敗した時はとても嫌な気持ちで穴があれば入りたくなります。しかし、**失敗は成功の鍵です**。“失敗



したから、その後の成功につながった”“失敗したから、より大きな失敗を防げた”“失敗したから、失敗した人の気持ちが分かるようになった”このような言葉はよく聞くことです。

私は、失敗をして、それを振り返り、その後に活かしたなら失敗ではないと思っています。逆に、これこそが学習ではないでしょうか。

良くない失敗は、反省せずに繰り返すことと、失敗を恐れ、逃げ続けることだと思っています。私は数多くの失敗をしました。実は、反省せずに失敗を繰り返したことも、失敗から逃げたこともあります。その時はとても後味がよくありません。今も嫌な思い出となっています。

並木中等生の皆さん。**失敗してもいいんですよ！**

《並木中等の感染防止対策》

- 昇降口で**サーモグラフィー**等を用いて体温を測ります 健康観察を行います
- 登校後も含め、機会あるごとに手洗いをします 各階に消毒液を設置します
- マスク**を着用し、教員と生徒が近い場面は**フェイスシールド**を使用します
- 教室の両側の窓、ドアを一部開け、換気をします 今後、扇風機も設置します
- 生徒どうしが対面する授業は当面控えます